

第3学年 特別の教科 道徳 学習指導案

対象 第3学年1組

指導者 妻藤 郁美

- 1 主題名 温かい家族 [内容項目] C 家族愛、家庭生活の充実
 教材名 「ぼくのおばあちゃん」(出典：東京書籍 新しいどうとく③)

2 本時について

(1) ねらい

家族を敬い、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくろうとする心情を育てる。

(2) 本時の展開

	主な発問(発問○ 中心発問◎) 予想される児童の反応(C)	・指導上の留意点 ◇評価規準(評価方法)
導入	1 「家族」について考える。 ○「家族」がいてよかったなと思うときはどんなときですか。(尊) Cいつも助けてくれるとき。 C一緒にいるとき。 Cごはんを作ってくれるとき。	・事前にアンケートをとっておき、出てきた内容を共有する。 ・ねらいとする道徳的価値への方向付けをする。
展開	2 教材「ぼくのおばあちゃん」を読んで話し合う。 ○おばあちゃんが同じ習字教室に通うようになったおさむは、どんな気持ちになったでしょう。 Cおばあちゃんと一緒なんてかっこわるい。 C友達に、冷やかされないか心配だ。 ◎おさむがおばあちゃんの代わりに書いてあげたくなったのは、どんな気持ちからだと思えますか。(表)(言) Cあんなにがんばって書いていたおばあちゃんがかっこわるい。 C自分の頑張りをみてもらって、おばあちゃんに元気になってもらいたい。 ○おばあちゃんが練習を再開できるようになったとき、おさむはどんなことを思ったでしょう。(尊) Cおばあちゃんが元気になってくれてよかつ	・心メーターを活用しおばあちゃんへの気持ちを表し、その根拠を話し合うようにする。 ・体面的なことばかり気にして、おばあちゃんの思いをくみ取れず、自分のことしか考えられていない心の弱さをおさえ、おさむの気持ちを考えるようにする。 ・自分の行動を振り返り、家族を敬い協力していこうとする気持ちを考えるようにする。 ◇家族を敬い、家族みんなで協力し合っていこうとするおさむの気持ちを考えている。 (発言・ワークシート) ・互いの存在が互いを高め合い、ともに家庭を明るくしていることに気付くようにする。

	<p>た。</p> <p>Cおばあちゃんのおかげで、僕は初段に合格できた。</p> <p>3「家族」のことについて振り返る。</p> <p>○自分は、家族のためにどんなことができそうですか。</p> <p>Cごはんの支度のお手伝いをする。</p> <p>C洗濯物をほしたり、たたんだりする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家族に支えながら生きている自分と、家族を支えている自分について気付くようにする。 ◇家族の存在の大切さについて、自分の経験を見つめている。(ワークシート)
終末	<p>4 保護者の話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者をゲストティーチャーとして招き、家族に対する思いや考えを聞き、温かい家族を作ろうとする心情を育てる。

(3) 板書計画

ぼくのおばあちゃん

いっしょにおけいこへ

- ・おばあちゃんと一緒なんてかっこわるい。
- ・友達に、冷やかされなにか心配だ。

しょんぼりしているおばあちゃん

場面絵

- ・あんなにがんばって書いていたおばあちゃんがかわいそう。
- ・自分の頑張りを見てもらって、おばあちゃんに元気になってもらいたい。

おばあちゃん練習再開

- ・おばあちゃんが元気になってくれてよかった。
- ・おばあちゃんのおかげで、僕は初段に合格できた。

場面絵

場面絵